

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和4年9月9日(2022.9.9)

【公開番号】特開2021-40996(P2021-40996A)  
 【公開日】令和3年3月18日(2021.3.18)  
 【年通号数】公開・登録公報2021-014  
 【出願番号】特願2019-165884(P2019-165884)  
 【国際特許分類】  
 A 6 3 F 7/02(2006.01)  
 【FI】  
 A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和4年8月31日(2022.8.31)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

所定の変動条件が成立すると、識別情報の変動表示を実行可能であり、識別情報を特定態様で停止表示すると、遊技領域に設けられた開閉可能な可変入賞口の開放を伴う大当たり遊技を実行する遊技制御手段を備えた遊技機において、

前記遊技制御手段は、

通常遊技状態よりも、前記遊技領域に設けられた開閉可能な可変始動口が開放し易い特定遊技状態にすることが可能であり、

識別情報を前記特定態様と異なる非特定態様で停止表示することに応じて前記特定遊技状態にすることがあり、

30

前記特定遊技状態後の識別情報の変動表示の変動時間を、所定の切替条件が成立する前と、前記切替条件が成立した後とで異なる条件に基づいて決定することを特徴とする遊技機

。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機であって、

前記変動条件には、第1変動条件と第2変動条件とが少なくともあり、

前記遊技制御手段は、

前記特定遊技状態後に前記第1変動条件の成立に応じて識別情報の変動表示を行う際には、その変動時間を、前記切替条件の1つである第1切替条件が成立する前と、前記第1切替条件が成立した後とで異なる条件に基づいて決定し、

40

前記特定遊技状態後に前記第2変動条件の成立に応じて識別情報の変動表示を行う際には、その変動時間を、前記第1切替条件とは異なる前記切替条件である第2切替条件が成立する前と、前記第2切替条件が成立した後とで異なる条件に基づいて決定することを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の遊技機であって、

前記切替条件は、識別情報の変動表示の回数に基づいて成立することを特徴とする遊技機

。

【請求項4】

請求項1から請求項3までのいずれかに記載の遊技機であって、

50

前記遊技制御手段は、前記大当たり遊技の終了に応じて前記特定遊技状態にすることがあることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係る遊技機は、

所定の変動条件が成立すると、識別情報の変動表示を実行可能であり、識別情報を特定態様で停止表示すると、遊技領域に設けられた開閉可能な可変入賞口の開放を伴う大当たり遊技を実行する遊技制御手段を備えた遊技機において、

前記遊技制御手段は、

通常遊技状態よりも、前記遊技領域に設けられた開閉可能な可変始動口が開放し易い特定遊技状態にすることが可能であり、

識別情報を前記特定態様と異なる非特定態様で停止表示することに応じて前記特定遊技状態にすることがあり、

前記特定遊技状態後の識別情報の変動表示の変動時間を、所定の切替条件が成立する前と、前記切替条件が成立した後とで異なる条件に基づいて決定することを特徴とする。

10

20

30

40

50